

2008年度 全学部生対象

## 春期・短期留学プログラム共通募集要項

立命館大学国際センターでは、以下の短期留学プログラムの参加者を募集します。  
いずれも春期休暇中の2～4週間 で実施します。ふるってご応募ください！

期間：海外スタディ「国連本部訪問」・・・2週間 その他のプログラム・・・4週間

### 1)イニシエーション型プログラム ...語学力の増進と異文化体験を主要な目的としたプログラム

プログラム名	研修言語	派遣先国・地域	コース(大学)名	宿舍	派遣人数
異文化理解 セミナー	英語	アメリカ	イリノイ・カレッジ	ホームステイと 学生寮	各 25 名
			オクラホマ大学		
		カナダ	オカナガン・カレッジ	ホームステイ	30 名
		イギリス	ウォーリック大学		25 名
		オーストラリア	メルボルン大学		30 名
	ニュージー ランド	ウェリントン・ビクトリア大学		25 名	
		中国	南開大学	学生寮	30 名
	中国語	台湾	国立台湾師範大学	ホームステイと学生寮	各 24 名
	朝鮮語	韓国	高麗大学	学生寮	
	フランス語	フランス	トゥールーズ・ミラユ大学	ホームステイ	
	ドイツ語	ドイツ	チュービンゲン大学	ホームステイと学生寮等	
	スペイン語	スペイン	アルカラ大学	ホームステイ	
メキシコ		モンテレイ工科大学			
立命館・ホスト大学 「英語研修」プログラム	英語	アメリカ	ボストン大学	学生寮	50 名

### 2)モチベーション向上型プログラム...語学力を高めながら英語による専門講義を受けるプログラム

プログラム名	研修言語	派遣先国・地域	コース(大学・機関)名	宿舍	派遣人数
立命館・シモンズカレッジ 「アメリカ社会とアメリカの 国際関係」プログラム	英語	アメリカ	シモンズカレッジ	学生寮	20 名
国際インスティテュート 海外スタディ *国際インス所属生でなくても 応募可能ですが応募者多数の 場合、国際インス所属生を 優先して選考します。	英語	アメリカ	ハワイ大学	学生寮	30 名
			ラトガーズ大学		15 名
			国連本部訪問	ホテル	30 名
	英語	スペイン	グラナダ大学	ホームステイ	15 名
*現地言語 の研修含む	ドイツ他 (全4カ国)	ヨーロッパ・スタディ	学生寮等	15 名	

\*各コースで、参加者が著しく少ない場合は実施されないことがあります。

説明会開催 (予約不要・ 参加自由)	衣笠キャンパス(18:00～19:30)	BKC(18:00～19:30)
	6月23日(月) 以学館 4号教室 7月2日(水) 以学館 4号教室	6月23日(月) コーニングハウス C107 7月2日(水) コーニングハウス C606

## 各プログラムの趣旨、概要

<b>&lt;イニシエーション型&gt;</b>	
異文化理解セミナー (英語圏・ 初修外国語圏の 全 13 コース)	<p>正課の外国語教育を補完し、国際的視野を養う国際教育の<b>入門的プログラム</b>であり、次に挙げることを目的として、実施します。現地事情ガイダンス(11/29(土))も実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 海外において外国語を集中的に学び、実践的なコミュニケーション能力の伸長を図り、今後の長期海外留学を含めた更なる学習の足がかりとすること。</li> <li>2) 講義や各自の興味・関心に応じたレポートの作成等を通じて、その国・地域についての体系的な理解・知識を深め、幅広い視野と国際的感覚を養うとともに、日本の伝統・文化や社会状況を現地で紹介すること。</li> <li>3) 時には多くの困難やストレスを伴う異文化環境下での生活体験を通じて、異なる価値観・考え方・生活様式・習慣への適応性を養うこと。</li> <li>4) 外から日本を客観的な角度で見つめ直すこと。</li> </ol>
立命館・ボストン大学 「英語研修」 プログラム	<p>ボストン大学の付属英語教育機関である CELOP(Center for English Language and Orientation Programs)で集中的に学ぶ国際教育の<b>入門的プログラム</b>です。英語力の総合スキルアップと海外の大学での学修方法を身につけるため、以下の目標のもとに実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 米国でも有数の高いレベルを誇る大学の英語教育機関で、集中的・専門的に学び、英語によるコミュニケーション能力とアカデミックスキルの向上を目指し、今後の海外留学を視野に入れた英語力を修得します。</li> <li>2) 米国でも有数の学園都市ボストンで学習しながら、米国文化・社会への認識を深め、国際的視野を広げます。</li> <li>3) ボストン大学のキャンパス内に所在する CELOP で集中的に学び、ボストン大学の正規授業も聴講できます(英語力によっては代替の授業になることがあります)。米国の大学の授業を体験し、今後の海外留学の足がかりとなる学修技法を修得します。</li> </ol>
<b>&lt;モチベーション向上型&gt;</b>	
立命館・シモンズ'カレッジ' 「アメリカ社会と アメリカの国際関係」 プログラム	<p>ボストンの名門女子大学において、「アメリカ社会とアメリカの国際関係」をテーマに著名な教授が行う講義で、英語による専門科目を学ぶレベルの高いプログラムです。</p> <p>専門講義を英語で受講することで、自らの専門分野における体系的な理解・知識を深め、今後の海外留学を踏まえた学習の足がかりとすることができます。ディスカッションを通じて、英語で論理的に自分の考えを表現する能力を修得します。</p> <p>また、滞在中は学生寮に滞在し、現地学生と交流する機会があるほか、ボストン近郊およびニューヨークへのフィールドトリップを通して、アメリカ社会や文化への理解を深めます。なお、現地コーディネーターの許可する科目に限り、学部の正規科目を聴講することも可能です。</p> <p>応募時に TOEFL® ITP/PBT480(CBT157, iBT54)点以上取得している者。 (専門講義を理解するためには TOEFL® ITP/PBT500(CBT173, iBT61)点以上が望ましい。)</p>

各プログラムの詳細は、衣笠国際センター・BKC 国際センターで配付する別紙資料や、国際センターホームページ <http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/in/cger/index.html> をご覧ください。

<p>国際インスティテュート 海外スタディ (全5コース)</p>	<p>海外スタディは、国際インスティテュート主催の<b>全学部生を対象に行う海外研修プログラム</b>です。このプログラムでは、学内での学びを海外で実践する場として位置付け、あらかじめ設定した各プログラムのテーマに基づく獲得目標を達成する為の海外研修プログラムです。出発前の事前研修、現地でのプログラムへの参加、そして帰国後の事後研修という一連の過程を経ることで、各プログラムのテーマに沿った内容についての理解が深まります。</p> <p>また受け入れ先大学・機関での講義に加え、フィールドトリップ等の体験学習的要素もふんだんに盛り込まれた内容になっています。専門講義では基本的に英語が使用されますが、英語圏以外では派遣国の使用言語を学ぶ語学研修を受講するプログラムもあります。</p> <p>事前・事後講義(4単位コース:全8コマ、2単位コース:全4コマ)も実施します。</p>
<p>ハワイ大学 「多民族社会 ハワイで学ぶ マルチカルチャリズムと その歴史」</p>	<p>ハワイ・オアフ島にある名門ハワイ大学のハワイ・アジア太平洋学部で、専門科目の受講およびフィールドトリップへの参加を通して、アカデミックスキルを中心に据えた総合的な英語力を養います。</p> <p>ハワイは日本および太平洋諸国とのつながりが深く、独自の豊かで多様な文化と歴史をはぐくんできました。それを知り体験を重ねていくことで、ハワイ・太平洋学、日米関係、多文化共生、マルチカルチャリズムなどへの理解を深めていきます。</p> <p>ハワイ観光だけでは見えてこないハワイの歴史とハワイが抱える今日的問題を考えるまたとない機会となることでしょう。</p>
<p>ラトガーズ大学 「アメリカの 大学生と学ぶ 日米関係」</p>	<p>アメリカ東海岸・ニュージャージー州の名門州立大学であり、NY市内から1時間のところに位置するラトガーズ大学で、英語講座やアメリカ政治、日米関係に関する講義(英語)を受講します。大学の正規授業を聴講する機会もあります。</p> <p>また現地学生とのパディシステムがあり、各種交流行事も活発に開催されます。またラトガーズ大学側でも、本プログラムに対応するゼミが開講されており、同ゼミのゼミ生と、本プログラムの参加者で日米合同ゼミを構成します。</p> <p>本年度のテーマは「日本とアメリカの対中国関係」です。本プログラムの参加者は、事前学習を通じて、テーマに関して学習し、ラトガーズ側のゼミ生諸君の来日(一月前半の一週間程度)に際してはホストとして交流をもつほか、彼らとの合同調査実習や合同授業も行い、最後に成果をまとめて現地でプレゼンテーション(英語)を行います。</p>
<p>国際連合本部 「国連本部で学ぶ 国際公務」</p>	<p>ニューヨークの国際連合本部を訪問し、国際政治の第一線で働く国連職員から、直接国連の活動内容、組織にシステム、および世界情勢について講義を受けます。事前講義で学習した内容を元に、職員に質問する機会もあります。</p>
<p>ヨーロッパ・スタディ 「EUの拡大と その現状(政治・ 経済・文化)」</p>	<p>西ヨーロッパ4カ国を訪問しながら今日の欧州連合(EU)の政治や社会事情について学習します。EU諸機関への見学・講義を通してEUへの理解が深まると共に、ドイツ語研修の機会も用意されています。研修先は、ヨーロッパ・アカデミー・オツェンハウゼン、ブリュッセル外国語大学、ケルン大学、フライブルク大学です。</p>
<p>グラナダ大学 「ラテン世界への ゲイトウェイ」</p>	<p>グラナダ大学が所在するグラナダは、イベリア半島南端に位置し、アルハンブラ宮殿などイスラム文化が色濃く残る都市です。現地家庭にホームステイをしながら、スペインの政治、経済、地理、歴史について学び、スペイン語の研修も行います。</p> <p>週末にはグラナダから足を伸ばし、名所・旧跡を訪ねたフィールドトリップを行い、授業で勉強した事柄を自分の目で確かめることができます。</p>

各プログラムの詳細は、衣笠国際センター・BKC 国際センターで配付する別紙資料や、国際センターホームページ <http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/in/cger/index.html> をご覧ください。

## 2. 開講期間・単位

各プログラムとも、5段階(A+, A, B, C, F)で評価し、2008年度後期科目(受講登録制限外)として認定します。4回生以上も参加可能(院生不可)ですが、単位取得には2009年4月1日に立命館大学に在籍している必要があります。

### 1) 異文化理解セミナー

派遣先大学の評価を参考としつつ立命館大学の担当教員が評価します。複数回の参加が可能ですが、単位取得は在学中1度限りです。また、CLAや孔子学院の海外研修に参加し、単位取得済の学生は、同じ言語圏のコースに参加しても単位取得できません。

学部	単位	科目
理工	2単位	2003年度以前入学生：「基礎科目特殊講義(基礎) (異文化理解セミナー)」 2004年度以降入学生：自由選択科目/外国留学科目群 「特殊講義(自由選択) ・ (異文化理解セミナー)」
情報理工		「総合教育科目特殊講義(基礎) 1 (異文化理解セミナー)」
その他の学部		「教養科目(一般教育・基礎科目・ヴィジョン形成) 特殊講義(異文化理解セミナー)」 教養科目の中で区分を分けている学部は「総合学術科目B群」として認定。

### 2) 立命館・ボストン大学「英語研修」プログラム

ボストン大学での評価を参考としつつ、立命館大学の担当教員が評価します。

学部	単位	科目	
法	2単位	「教養科目(一般教育・基礎科目) 特殊講義(総合)」 教養科目の中で区分を分けている学部は「総合学術科目B群」として認定。	
産業社会			
国際関係			
政策科学			
文			
映像			
経済			
経営			
理工			2003年度以前入学生：「基礎科目特殊講義(基礎) (総合)」 2004年度以降入学生：「自由選択科目」 外国留学科目群
情報理工			総合教育科目「特殊講義(基礎) 1」または「特殊講義(基礎) 2」
生命科学			「外国留学科目(基礎)」(教養科目として認定)
薬			

### 3) 立命館・シモンズカレッジ「アメリカ社会とアメリカの国際関係」プログラム

授業態度と現地で作成する英語での最終レポートが評価対象となり、現地アカデミック・コーディネーターの報告をもとに、立命館大学の担当教員が評価します。

学部	単位	科目
法	2 単位	外国留学科目（教養）
産業社会		外国留学特修科目 2004 年度以前入学生：「学科共通専門科目」 2005 年度以降入学生：「学部共通専門科目」
国際関係		外国留学科目（固有専門）
政策		政策科学特殊講義
文		外国留学特修科目（人文科学総合講座）
映像		外国留学特修科目（自由選択）
経済		外国留学科目（教養）
経営		教養科目「外国留学科目」
理工		[理工] 2003 年度以前入学生：「特殊講義（基礎）」 2004 年度以降入学生：「特殊講義（自由選択）」（ただし数理科学科・物理科学科は要卒単位外） [インス] 基礎科目分野 / 「特殊講義」
情報理工		総合教育科目「特殊講義（基礎）1」または「特殊講義（基礎）2」
生命科学		「外国留学特修科目」（教養科目として認定）
薬		募集しない

### 4) 国際インスティテュート海外スタディ

各プログラムの担当教員が成績評価を行います。本学で行う事前研修、研修先での学習、帰国後の事後学習が評価の対象となります。

海外スタディの過年度の参加者による2回目の参加は可能ですが、海外スタディでの単位認定は最大4単位です。海外スタディ2単位のプログラムに参加し単位認定を受けたことがある場合、4単位のコースに参加しても単位認定はありません。

学部等	単位	科目
国際インスティテュート所属学生	国連本部 コース:	「海外スタディ」(国際インスティテュート専門科目)
その他の学生	2 単位 他:4 単位	

学部事務室で確認してください。

## 3. 参加費用および奨学金

プログラム名等		2007 年度参加費 *	個人負担となる諸経費	奨学金(予定)
異文化理解 セミナー	イリノイ・カレッジ	445,400	パスポート取得、 派遣先での 個人行動費・ (コースによっては、 さらに予防接種費用、 ビザ申請手数料、食費、 通学交通費等を含む) 日本国内の交通費 等。	参加費の16.5% 程度を 参加者全員に 給付 (上限10万 円)。
	オクラホマ大学	473,700		
	オカナガン・カレッジ	431,800		
	ウォーリック大学	479,800		
	メルボルン大学	574,900		
	ウェリントン・ビクトリア大学	641,200		
	南開大学	294,500		
	国立台湾師範大学	387,400		
	高麗大学	328,400		
	トゥールーズ・ミラノ大学	510,800		
	チュービンゲン大学	370,600		
	アルカラ大学	485,100		
モンテレイ工科大学	407,300			
立命館・ボストン大学 「英語研修」プログラム		523,200		
立命館・シモンズ・カレッジ 「アメリカ社会とアメリカの国際関係」プログラム		480,430		
国際 インスティテュート 海外スタディ	ハワイ大学	358,880		
	ラトガーズ大学	495,440		
	国連本部訪問	260,180		
	ヨーロッパ・スタディ	534,740		
	グラナダ大学	539,080		

\* 授業料、宿泊費、航空運賃、フィールドトリップ費、現地緊急連絡体制経費等を含みます。各プログラムとも、**合格者は発表後、所定の期間内(1週間程度)に申込金(5万円)を支払い、残金は費用確定(出発の約1ヶ月前)後に納付します。**昨年度費用はあくまで参考です。参加費は現地の授業料や物価水準、為替相場等によって変動します。**辞退期限以降にキャンセルした場合は、プログラム費用の一部または全額を負担していただきます。**

## 4. 応募条件

プログラムの趣旨・目的を理解し、現地での学習に意欲を持ち、真摯にプログラムの学習に取り組む学生。この他に各プログラムで以下の応募条件もあります。

大学院生及び、既に同期間の留学プログラムに派遣が予定されている学生は応募資格がありません。

プログラム名等	応募条件
異文化理解セミナー	派遣先の言語学習について多大な関心と意欲を持ち、プログラムを通じての学修に真摯に取り組む立命館大学の学部生(語学要件なし)。
立命館・ボストン大学 「英語研修」プログラム	立命館大学の学部生(語学要件なし)。
立命館・シモンズ・カレッジ 「アメリカ社会とアメリカの国際関係」 プログラム	立命館大学の学部生。(但し薬学部を除く) 応募時に TOEFL® ITP/PBT480(CBT157、iBT54)点以上取得している者。
国際インスティテュート 海外スタディ	<全コース>プログラムの趣旨に従い、研修先の内容について興味・関心があり、真摯に事前講義・現地研修・事後講義のすべてに出席する立命館大学の学部生。 <英語圏以外のコース>研修地公用語(ドイツ語・スペイン語等)についても、学習意欲を持っている者。

## 5. 応募方法、参加者選考について

1) 応募書類:ペン書きし、以下 ~ の順にそろえて左上をホチキスでとめ、提出すること。

<b>応募時に提出するもの</b>	
	<b>2008 年度春期 短期留学プログラム 応募書類提出チェックリスト</b>
	<b>2008 年度春期 短期留学プログラム 共通申込書</b>
A ~ D	<p><b>各プログラム申込レポート</b> プログラムごとに所定用紙(以下 A~D)が異なります。志望するすべてのプログラムについてレポートを作成してください。</p> <p>異文化理解セミナー 「 A 2008 年度 異文化理解セミナー 申込レポート 」</p> <p>立命館・ボストン大学「英語研修」プログラム 「 B 2008 年度立命館・ボストン大学「英語研修」 プログラム申込レポート 」</p> <p>立命館・シモンズカレッジ「アメリカ社会とアメリカの国際関係」プログラム 「 C 2008 年度立命館・シモンズカレッジ「アメリカ社会とアメリカの国際関係」 プログラム申込レポート 」</p> <p>国際インスティテュート海外スタディ 「 D 2008 年度夏期 国際インスティテュート海外スタディ 申込レポート 」</p> <p>&lt;ワープロ作成による別紙利用の場合&gt;以下1)~3)の手順で作成してください。 1)所定用紙に氏名、学生証番号等必要事項を記入し、本文の部分に「別紙参照」とのみ記入する。 2)別紙はA4用紙を利用し、各ページに氏名、学生証番号、所属学部、志望プログラム・コース名を明記する。 3)上記「1」「2」の順番でホチキスどめする。</p>
	<b>累積 GPA 記載の 2007 年度後期成績通知表のコピー (A4 サイズに縮小のこと) 1 回生不要</b>
	<p><b>TOEFL®スコア(TOEFL®-ITP 可)等語学力を示す証明書のコピー(A4 サイズ)</b> ・申込書の「資格」欄に、TOEFL®スコア 他語学検定について記入した人は提出してください。期限がある証明書の場合は、期限内のものを提出してください。(例:TOEFL®スコアは2年間です。) ・コピーの余白部分に、氏名、学生証番号、所属学部およびプログラム・コース名を明記してください。</p>
	<p><b>パスポートのコピー(顔写真のあるページ)</b> ・パスポート未取得でも応募可能ですが、<b>選考結果発表日までに必ず提出してください。</b> ・指定の用紙に貼付し、必要事項を記入の上、提出してください。</p>
	<b>2008 年度春期 短期留学プログラム 応募書類共通受領票</b>
<b>応募以降に提出するもの 応募時には提出不要です。</b>	
	<p><b>累積 GPA 記載の 2008 年度前期成績通知表のコピー (A4 サイズに縮小のこと)</b> ・9月下旬に学部から配付され次第、速やかに提出してください。</p>

2) 応募書類提出

<b>受付期間</b>	2008 年 6 月 26 日(木) ~ 7 月 11 日(金) 17:30
<b>窓口</b>	衣笠国際センター(明学館 1 階)またはBKC 国際センター(アクロスウイング 1 階) (窓口を閉鎖している時間は受け付けません。事前に確認してください。)

- 3) 選考と合格後手続き等：選考は書類審査によります。面接を行う場合もあります。  
国際インスティテュート海外スタディについては、応募者多数の場合、国際インスティテュート所属生を優先して選考します。

<b>選考結果発表</b>	<b>異文化理解セミナー(英語圏)・立命館・ボストン大学「英語研修」プログラム・シモンズカレッジ「アメリカ社会とアメリカの国際関係」プログラムを第一志望にしている学生</b> <b>2008年7月30日(水) 13:00</b> 衣笠国際センターおよびBKC国際センター掲示板速やかに確認のうえ、合格者は所属キャンパスの国際センター窓口にて手続きを開始してください。
	<b>異文化理解セミナー(初修外国語圏)・国際インスティテュート海外スタディを第一志望にしている学生</b> <b>2008年11月12日(水) 17:00</b> 衣笠国際センターおよびBKC国際センター掲示板合格者は発表日当日に行われるガイダンスにて受講手続書類を配布します。

<b>合格者ガイダンス</b>	合格者は全員11月12日に各キャンパスで行われるガイダンス(18:00～)に必ず出席して下さい。
-----------------	--

<b>辞退期限 申込金納入締切</b>	<b>異文化理解セミナー(英語圏)・立命館・ボストン大学「英語研修」プログラム・シモンズカレッジ「アメリカ社会とアメリカの国際関係」プログラムを第一志望にしている学生</b> <b>2008年8月5日(火) 11:30 まで</b>
	<b>異文化理解セミナー(初修外国語圏)・国際インスティテュート海外スタディを第一志望にしている学生</b> <b>2008年11月17日(月) 11:30 まで</b>

## 6. 参加決定後のスケジュール(予定)

**すべてのガイダンスに必ず出席してください。**

日程は前後する可能性があります。9月16日に各キャンパス国際センター掲示板にてお知らせしますのでスケジュールを各自確認して下さい。

	衣笠	BKC
● 第1回ガイダンス(手続き書類配布)	11月12日	11月12日
● 第2回ガイダンス(保険・ビザ申請について)	11月19日	11月20日
● 第3回ガイダンス(予防接種・留学中の健康管理について)	11月上旬	11月上旬
● 現地事情ガイダンス(異文化理解セミナーのみ)	11月29日	11月29日
● 結団式・結団パーティー	12月20日	12月20日
● 第4回ガイダンス(危機管理について)	12月12日	12月12日
● 第5回ガイダンス(ビザ申請面接について)*該当コースのみ	12月17日	12月22日
● 渡航前ガイダンス(費用振込み・現地での諸注意について)	1月15日	1月16日
● プログラム費用納入締切	1月22日	1月22日
事前・事後講義(海外スタディのみ、4単位コース：全8コマ、2単位コース：全4コマ)も実施します。 日程は後日MLなどで連絡します。		
ボストン大学「英語研修」・シモンズカレッジ・海外スタディハワイ大学 プログラム応募者は、渡航準備のため、母子手帳等予防接種歴が確認できる書類が必要になります。		



## 7. 確認事項

1. 本学が指定する往復の航空便の利用および本学が指定する海外旅行傷害保険への加入を義務付けます。  
また、本学の許可なしに留学の延長、短縮はできません。
2. 渡航に必要なビザ・パスポート等が所定の期間内に取得できない場合は、プログラム参加を辞退していただきます。
3. プログラム参加には定期健康診断を受診していることが必要です。健康上の不安がある場合は、必ず保健センター医師に相談してください。また、現地での健康管理は各自で行ってください。
4. 大学の指示に従わない、必要な書類を提出しない、渡航前ガイダンスに参加しないといった行動をとる場合は、プログラムへの参加を辞退していただく可能性があります。
5. プログラム期間が後期試験の追試験と重なる場合は、追試験を受けることができません。また、補講についても同様です。
6. ホームステイでは、1家庭に複数名の学生がステイする場合があります。
7. 現地滞在中の様々なトラブルについては、基本的に自己の責任において対処することになります。現地においては十分な自覚を持ち、責任ある行動を心掛けてください。日本および現地の法令・規則を遵守し、立命館大学及び現地の教職員の指示に従ってください。
8. 学生の安全を最優先に考える観点から、学生の派遣にあたり、「世界情勢の緊迫」等への対応によって、研修を中止する場合があります。天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の激変・テロ、その他不可抗力的な事態によって、プログラムの変更や中断を余儀なくされた場合であっても、立命館大学に対して一切の費用の払い戻し、損害賠償を要求しないこと。
9. その他プログラムで定める遵守事項に従うこと。
10. 奨学金受給者が次の各号のいずれかに該当した場合は奨学金の返還を求めます。
  - (1) 学籍を失ったとき
  - (2) 休学したとき
  - (3) プログラムの参加を取りやめたとき
  - (4) 成績が著しく不振のとき
  - (5) 「学生賞罰規程」による懲戒処分を受けたとき
  - (6) プログラムの出願書類に虚偽の申告をしてプログラム参加者となったことが判明したとき
  - (7) その他奨学金の趣旨に著しく反する行為があったとき

## 8. 保健センターからのお知らせ -留学前に麻疹(はしか)ワクチンを-

2007年度は大学生を中心に麻疹(はしか)が流行しました。

麻疹(はしか)は予防接種でしか予防することができません。2回接種しなければ免疫力が低下することがあるため、罹った事がある人以外は2回目の接種をしておく必要があります。

「日本は麻疹(はしか)の輸出国である」と国際的にも非難されています。

みなさんは、留学に出るまでに必ず2回目のワクチンを接種しておいてください。

また、地域によっては麻疹(はしか)以外にも予防接種をしておいたほうが良い場合があります。下記URLを参照の上、早目に計画的に接種するようにしてください。

<参照> <http://www.forth.go.jp/>

以上

## 2008年度春期 短期留学プログラム応募書類提出チェックリスト

\* 本票は、他の提出書類(すべてA4サイズ)とともに、 から の順番に並べて、ホッチキスでとめて提出してください。

学部		学科		専攻( 回生)
( 文理総合・国際 )インスティテュート		( )インスティテュート・プログラム		該当学生のみ
フリガナ		学生証 番号		
氏 名				
応募プログラム	希望するプログラムの( )内に を記入。複数のプログラムを併願する場合、希望順位を記入。なお、応募レポートはプログラムごとの作成が必要です。			
( )	異文化理解セミナー	( )	立命館・ボストン大学「英語研修」プログラム	
( )	立命館・シモンズカレッジ「アメリカ社会とアメリカの国際関係」プログラム	( )	国際インスティテュート海外スタディ	

2008年度春期短期留学プログラムに応募しますので、以下の書類を提出します。

## 〈提出書類一覧〉

\* 提出する書類を点検のうえ「本人確認欄」にチェックをつけて提出し、衣笠国際センターもしくはBKC国際センターで確認をうけてください。不備がある場合は受領されません。

提出書類		本人 確認欄	事務局 確認欄	備 考
	2008年度春期 短期留学プログラム応募書類提出チェックリスト			全員提出(本票)
	2008年度春期 短期留学プログラム共通申込書			全員提出
A	異文化理解セミナー (英語圏)	2008年度 異文化理解セミナー 申込レポート 研修言語の異なるコースを併願する場合、研修言語ごとに作成		志望プログラム分のみ提出
	異文化理解セミナー (初修外国語圏)	2008年度 異文化理解セミナー 申込レポート 研修言語の異なるコースを併願する場合、研修言語ごとに作成		
B	立命館・ボストン大学 「英語研修」プログラム	2008年度立命館・ボストン大学「英語研修」 プログラム申込レポート		
C	立命館・シモンズカレッジ「ア メリカ社会とアメリカの国際 関係」プログラム	2008年度立命館・シモンズカレッジ「アメリカ社会とア メリカの国際関係」プログラム申込レポート		
D	国際インスティテュート 海外スタディ	2008年度春期 国際インスティテュート 海外スタディ申込レポート		
	累積GPA記載の成績通知表のコピー(A4に縮小のこと) (2007年度後期のもの、1回生は不要)			全員提出
	TOEFL®スコア等語学力を示す証明書のコピー(A4サイズ) 期限がある証明書の場合は、期限内のものを提出。(例:TOEFL®スコアは2年)			申込書の「資格」欄にTOEFL® 等語学検定について記入した者 ( シモンズカレッジ応募者は全員)
	パスポートのコピー(顔写真のあるページ) 指定の用紙に貼付し、必要事項を記入の上、提出してください。			未取得・更新手続中 全員提出 ( 月 日までに 提出予定)
	2008年度春期 短期留学プログラム応募書類共通受領票			全員提出

<書類はペン(黒)書きのこと>

2008年度春期 短期留学プログラム共通申込書

<p><b>募集要項を熟読し、プログラムの趣旨・目的を理解した上で、以下のプログラム・コースへの参加を希望いたします。</b></p> <p><small>希望するプログラムの( )内に を記入。複数のプログラムを併願する場合、希望順位を記入。なお、応募レポートはプログラムごとの作成が必要です。</small></p>						<p>(事務局使用欄) Access No.</p>	
<p>希望順位</p>							
<p>( ) 異文化理解セミナー( ) 語圏 ( <sup>第1希望</sup> ) コース</p>							
<p>( ) 異文化理解セミナー( ) 語圏 ( <sup>第2希望</sup> ) コース</p>							
<p>( ) 立命館・ボストン大学 「英語研修」プログラム</p>							
<p>( ) 立命館・シモンズ'カレッジ' 「アメリカ社会とアメリカの国際関係」プログラム</p>						<p>写真貼付欄 裏面に学部・氏名記入 (タテ 4センチ x ヨコ 3センチ)</p>	
<p>( ) 国際インスティテュート海外スタディ ( <sup>第1希望</sup> ) コース</p>							
<p>( ) 国際インスティテュート海外スタディ ( <sup>第2希望</sup> ) コース</p>							
<p>学部 ( ) (文理総合・国際)インスティテュート <small>該当学生のみ</small></p>							
<p>学生証番号 ( ) 回生 ( ) ( )インスティテュート・プログラム <small>該当学生のみ</small></p>							
フリガナ							
氏名						出生地	
<p>男・女 生年月日 19 年 月 日生 (満 歳)</p>							
現住所						フリガナ	
E-Mail						電話番号	
<p>* 合格者のRainbowメールアドレスは連絡用メーリングリストに登録します。</p>						<p>自宅: ( ) -</p> <p>携帯電話: ( ) -</p>	
帰省先						電話番号: ( ) -	
<p>海外渡航または留学プログラム参加歴</p> <p>・立命館の留学プログラムに参加し単位認定をうけたことがある。(あり・なし)</p> <p>「あり」の場合プログラム名・コース名、参加年度を記述</p> <p>・その他の海外渡航または留学プログラム参加(あり・なし)</p> <p>「あり」の場合、具体的に記述</p>						<p>他の留学プログラムとの併願 (あり・なし)</p> <p>「あり」の場合、プログラム名・コース名を具体的に記述</p>	
<p>パスポート</p> <p>あり 有効期限 ( 年 月 日 )</p> <p>なし 取得予定 ( 年 月 日 )</p> <p>なしの場合、国籍を記入 ( )</p>						<p>資格 (語学検定等を含む)</p> <p>TOEFL®スコア他語学検定について記入した人は証明書コピーを提出すること</p> <p>TOEFL® 点 (種類 )</p> <p>TOEIC® 点 (種類 )</p> <p>その他</p>	
<p>健康面での不安(アレルギー等含む)がある。(あり・なし)</p> <p>「あり」の場合、具体的に記述 選考には影響しません。</p>						<p>サークル活動</p> <p>その他(書道・日本舞踊・生け花等の文化活動など)</p>	
<p>学内の定期健康診断を受診しましたか? 受診した / 受診していない</p>							

<書類はペン(黒)書きのこと>

## A 2008年度春期 異文化理解セミナー申込レポート(研修言語: 語) 1/2

派遣希望大学 (コース)	第1希望 コース	第2希望 コース
フリガナ		
氏名		学生証番号
別紙利用の場合は、以上の欄に必要事項を記入し、以下の本文については「別紙参照」とのみ記入した上で、 2ページ目以降にワープロで作成し、A4用紙に印刷した本文をつけて、全体をホチキス留めの上提出してください。		
以下の質問に日本語または研修言語で回答して下さい。(「3.」は初修外国語圏のコースに応募する1回生以外は必ず研修言語で作成。)		
1. 「異文化理解セミナー」への応募動機、および第1希望大学(コース)を選んだ理由について述べて下さい。		
2. あなたの考える「異文化理解」とはどのようなものですか。		

(次頁に続く)

## A 2008年度春期 異文化理解セミナー申込レポート(研修言語: \_\_\_\_\_ 語) 2/2

3. 日本(文化、社会的特徴等)、立命館大学、あるいは学部での専攻分野について、派遣先の人々に向け紹介文を研修言語で作成して下さい。初修外国語圏のコースへ応募する1回生に限り、日本語での記入も可とします。

4. 派遣先の国・地域に関する文化・歴史・社会問題等で、あなたが興味を持っている事柄について述べて下さい。(第1希望について記入)

5. このプログラムは「異文化理解」を目的としており、時には困難やストレスを伴う異文化環境のもとで様々な体験をすることが予想されます。自分の性格等を踏まえて、このような環境にどのように適応していくのか、抱負を述べて下さい。

書類に記入してもらった個人情報は、派遣者の選考・渡航に関する手続や本学からの連絡、および今後のプログラム内容の改善を図るため、個人が特定されない学内統計資料の作成目的のみに使用されます。また、派遣先大学および旅行代理店・保険会社に対して、渡航手続・保険手続を進める上で必要な情報についてのみ提供されます。

氏名	
学生証番号	



**B 2008年度春期 立命館・ボストン大学「英語研修」プログラム申込レポート 2/2**

2. プログラム期間におけるあなたの目標について述べて下さい。


3. 派遣先の国・地域に関する文化・歴史・社会問題等で、あなたが興味を持っている事柄について述べて下さい。


書類に記入してもらう個人情報は、派遣者の選考・渡航に関する手続や本学からの連絡、および今後のプログラム内容の改善を図るため、個人が特定されない学内統計資料の作成目的のみに使用されます。また、派遣先大学および旅行代理店・保険会社に対して、渡航手続・保険手続を進める上で必要な情報についてのみ提供されます。

氏名	
学生証番号	

< 書類はペン書き(黒)のこと >

**C 2008年度春期 立命館・シモンズカレッジ  
「アメリカ社会とアメリカの国際関係」プログラム 申込レポート 1/2**

フリガナ		学生証番号	
氏名			
<p align="center">別紙利用の場合は、以上の欄に必要事項を記入し、以下の本文については「別紙参照」とのみ記入した上で、2ページ目以降にワープロで作成し、A4用紙に印刷した本文をつけて、全体をホチキス留めの上提出してください。</p>			
<p>以下の質問に日本語または英語で回答して下さい。</p>			
<p>1. なぜ「立命館・シモンズ・カレッジ「アメリカ社会とアメリカの国際関係」プログラム」に参加しようと思いましたか。</p>			

書類に記入してもらう個人情報は、派遣者の選考・渡航に関する手続や本学からの連絡、および今後のプログラム内容の改善を図るため、個人が特定されない学内統計資料の作成目的のみに使用されます。また、派遣先大学および旅行代理店・保険会社に対して、渡航手続・保険手続を進める上で必要な情報についてのみ提供されます。

(次頁に続く)



**C 2008年度春期 立命館・シモンズカレッジ  
「アメリカ社会とアメリカの国際関係」プログラム 申込レポート 2/2**

2. プログラム期間におけるあなたの目標について述べて下さい。


3. 派遣先の国・地域に関する文化・歴史・社会問題等で、あなたが興味を持っている事柄について述べて下さい。


氏名	
学生証番号	

<書類はペン書き(黒)のこと>



## D 2008年度春期 国際インスティテュート海外スタディ 申込レポート

2/2

2. 研修実施までに学習しておきたい課題について述べてください。

3. このプログラムに参加することによりどのような成果を期待しますか。または獲得目標は何ですか。英語で述べてください。

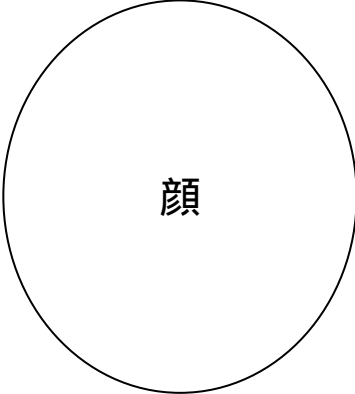
書類に記入してもらった個人情報は、派遣者の選考・渡航に関する手続や本学からの連絡、および今後のプログラム内容の改善を図るため、個人が特定されない学内統計資料の作成目的のみに使用されます。また、派遣先大学および旅行代理店・保険会社に対して、渡航手続・保険手続を進める上で必要な情報についてのみ提供されます。

氏名	
学生証番号	

< 書類はペン書き(黒)のこと >

パスポートのコピー < 指定用紙 >

ここにパスポートのコピー (顔写真のページ < 見開き >) を  
貼り付けてください。



顔

第1志望プログラム名 コース名	
--------------------	--

学部		学科	
学生証 番号		回生	
フリガナ			男・女
氏名			

当個人情報、派遣先大学および旅行代理店・保険会社に対して、渡航手続・保険手続を進める上で必要な情報についてのみ提供されます。

< 書類はペン書き (黒) のこと >

## 2008年度春期 短期留学プログラム応募書類共通受領票(事務局控え)

学部 様 (学生証番号 )

第一志望プログラム・コース名: ( コース)

2008年度春期短期留学プログラムの応募を受け付けました。本票は選考終了まで紛失することのないよう大切に保管してください。

### 選考結果発表日 (第一希望のプログラム)

	日	時間
異文化理解セミナー(英語圏) ホスト大学「英語研修」プログラム シモンズ カレッジプログラム	7月30日	13:00 ~
異文化理解セミナー(初修外国語圏) 国際インスティテュート海外ステイ	11月12日	17:00 ~

受領日 年 月 日  
衣笠国際センター・BKC国際センター受付印

合格者は全員11月12日に行われるガイダンスに参加すること

担当:

<書類はペン(黒)書きのこと>

----- 切り取り線 -----

2008.6.19 Ver.2 衣笠国際センター・BKC国際センター

## 2008年度春期 短期留学プログラム応募書類共通受領票(本人控え)

学部 様 (学生証番号 )

第一志望プログラム・コース名: ( コース)

2008年度春期短期留学プログラムの応募を受け付けました。本票は選考終了まで紛失することのないよう大切に保管してください。

### 選考結果発表日 (第一希望のプログラム)

	日	時間
異文化理解セミナー(英語圏) ホスト大学「英語研修」プログラム シモンズ カレッジプログラム	7月30日	13:00 ~
異文化理解セミナー(初修外国語圏) 国際インスティテュート海外ステイ	11月12日	17:00 ~

受領日 年 月 日  
衣笠国際センター・BKC国際センター受付印

合格者は全員11月12日に行われるガイダンスに参加すること

担当:

<書類はペン(黒)書きのこと>